

浅間国際フォトフェスティバル2025 PHOTO MIYOTA
／会期終了報告／



今年も浅間国際フォトフェスティバルを開催し、53日間の会期を終え9月30日(火)に閉幕しました。国内外から参加した17組の作家による約300点の作品を屋内外にさまざまな形で展示しました。会期中はイベントやワークショップ、みよたコーヒーウィークエンドなどを開催しました。また、元気づくり支援金事業として、エコールみよたと龍神の杜公園に展示型のベンチを設置しました。今後もフォトフェスティバルの開催を楽しみにしていただけるよう、町民参加型イベントの企画や魅力ある事業となるよう改善に努めてまいります。

《浅間国際フォトフェスティバル実績報告》

- 期 間 8月2日(土)～9月30日(火)
のべ53日間(水曜定休、8月13日(水)除く)

●会 場 MMoP(モップ)

●来場者数 3万3,585人
- 作 家 17組

●作 品 数 約300点

●公式インスタグラムフォロワー数 6,195人

主なイベント等 ※一部抜粋、ワークショップを“WS”と表記しています。

イベント名(ワークショップ、マルシェ等)	日 程	参加者・出店者
展示作品ガイドツアー	8月11日・9月6日	参加者 約35名(2日間)
カロリナ・ウォイタス トークイベント	8月26日	参加者 約17名
「ものづくりWS」 濱野皮革工芸レザークラフト／土染め	8月30日	WS参加者 約80名
小原 一真 トークイベント	8月31日	参加者15名
mamamo キッズ撮影会	9月6日	参加者 27組(約90名)
「カメラの原点を学ぼう!～カメラ・オブスキュラ～」 ワークショップ	9月6日	参加者10組(22名)
「MIYOTA COFFEE WEEKEND by NAGANO COFFEE FESTIVAL」	9月20日・21日	24店舗出店 来場者 約5,200名(2日間)
見えない人・見えづらい人との展示鑑賞を考えるモニターツアー	9月21日	約9名(関係者含む)
「撮って、切って、貼って、コラージュ作品をみんなで作ろう!」 ～COLLAGE DE MIYOTA～ワークショップ	9月27日・28日	WS参加者 34組(約80名)
小学生対象「ガイドツアーとチェキカメラを学ぼう」	9月29日	47名

問い合わせ先 産業経済課地域振興係(32)3113

町合併記念自治功勞表彰

御代田町合併記念日である9月30日(火)に町合併記念式典が行われました。
昭和31年9月30日に3村(御代田村、小沼村、伍賀村)合併して、御代田町が発足し、今年で69周年になりました。

町表彰条例に基づき、町政の進展にご尽力いただきました皆さまへ表彰状、感謝状と記念品を贈呈しました。



問い合わせ先

総務課行政係(32)3111

表彰状贈呈者

●土地開発公社監事16年

神津 一義 様

感謝状贈呈者

●株式会社大建

代表取締役社長 増田 裕一郎 様

●ミネベアアミツミ株式会社 様

通勤・通学時間の時差出勤の推進で、町内交通渋滞の緩和および交通事故防止に貢献していただきました。

企業版
ふるさと納税に関する
感謝状贈呈者

●株式会社アイ工務店

代表取締役社長 坂井 達也 様

●株式会社ひらまつ

代表取締役社長 三須 和泰 様

●タカオ株式会社

代表取締役社長 高尾 典秀 様

●有限会社 ワールドドリーム

代表取締役 柳澤 章好 様

●株式会社 move

代表取締役社長 河合 勇樹 様

ふるさと納税に関する
感謝状贈呈者

松増古藤中中高亀
浦田田本田田橋井
正松暁大泰元幸英
洋将人助彦子毅志
様様様様様様様様

他7名

これだけかかっています!
ごみ処理費用

ごみ処理における収入と支出

町民の皆さんの日常生活を支えるごみ処理には多くの費用がかかります。令和6年度に出た町の家系系ごみは2,125tとなり、処理にかかる費用は約1億5,290万円に上ります。これを町民一人当たりで換算すると年間約9,113円の費用がかかっています。この費用は税金のほか、町民の皆さんにご負担いただいているごみ処理手数料(ごみ袋代の一部等)や回収した新聞紙等の資源物売った収入で賄っています。令和6年度の家系系ごみにおける収入は、手数料を含めたごみ袋代約1,630万円、資源物の売り払いによる収入約930万円等で合計は約2,610万円でした。

分別の効果

分別されずに可燃ごみとして処理されている容器包装プラを1kg分別すると、処理費用を約29円削減できます。例えばプラスチックの弁当容器はふたと併せて約25gです。町民全員がこの弁当を食べ、容器を分別したとすると総重量は約420kgとなり、約12,180円削減になります。また、処理費用の削減だけでなく、地球温暖化対策の効果もあり、CO₂排出量に換算すると約1,260kg削減することができます。そのほかにもリサイクルによる資源の有効活用、焼却施設や埋立処分場の延命化などの効果が期待できます。

日々の少しの行動が、大きな成果につながります。皆様のご協力をお願いします。

令和6年度 家庭系ごみの処理費用

